

あなたの保育のヒントになるかもしれない情報誌

スイッチ!



2022スイッチ!フォトコンテスト大賞作品
沖縄県ひまわり童保育園「おいしいね！」

特集1 青年部会員園紹介1
ひので保育園(熊本県支部)

特集2 青年部会員園紹介2
元岡きらきら保育園(福岡県支部)

特集3 活動委員会インタビュー
幼児教育保育委員会

2023年号

vol.8

熊本県支部 ひので保育園

園舎テラスの鉄柱に這わせるようにブドウが実っている。木造の園舎の色合いに緑のアクセントが映える。



筆文字での手書きのクラス名が手作り感やぬくもりを感じさせられる。また各園庭は、日の出にちなんで、太陽をモチーフとした名づけがされている。



ビオトープや築山のように自然を生かした入口部分と変わり、園庭の奥部分は、遊具が設置されており、人工的な園庭が姿をのぞかせる。



園に入ってすぐの園庭には、小川の様なビオトープや、自然を生かした築山がみられる。

2019年に建て替えられた園舎は、木材が使用され、入り口から7.5m伸びるアプローチには、ブドウの木がたわわに実を付けていた。また自然豊かな築山や各所に植えられた実のなる木、ビオトープの魚や木工小屋など子どもたちが季節を感じ、自由な発想を膨らませる姿が目に浮かぶ。また、廊下に面した窓ガラスは、陽光をふんだんに採り入れることがで、どんな天候でも子どもたちの保育室はひのでの様に明るい。

熊本市内から高速道路で2時間弱、八代市の球磨川（くまがわ）河口に併む「ひので保育園」は、子どもたちの未来を輝かせる温かな巢窟だ。この地域は、明治時代の干拓によって開拓された土地で周りには田んぼ広がっている。ここでは、まるで自然と融合したような教育環境が魅力のひとつ。モンテッソーリ教育を中心に刻み込み、子どもたちの個々の成長を大切に育てている。保育士たちは熱い視線で子どもたちの興味や才能を見極め、適切な学びの材料を巧みに提供する。

園内は知育玩具や感性を刺激する素材で溢れ、子どもたちは好奇心を掻き立てられる日々を送っていることだろう。

太陽の名前を冠した暖かく、光に包まれた保育園



太陽の丘といふ意味である、あるばさーらと名づけられたホール。採光が多く、まさに名前の通りとなっている。

園庭側がほぼ全面ガラス張りという、保育園。雨の日や曇りの日でも、子どもたちは暖かな光に包まれている。



給食時のようなす。ひとり様席などもあり、常に自立心を向上させるような働きかけがあり、子ども達も自主的な動きが目立った。

区切られてはいるが、ガラス張り。設置されている家具も低く、隣のクラスまで見渡せる開放感のある施設になっている。



特注品である三面使用のできる椅子。上に返せば年少児用、下に返せば年長児用、背面を天井にすれば大人も使用できる。



給食時、子どもたちは、座る位置を自由に決めることができる。特に、子どもたちの意志によっておひとり様のように一人で食事をする席もあり、自立心の育成にも関わっている。

ここ、ひので保育園では、童心溢れる笑顔が絶えない。子どもたちが心を許し合い、友情を育む姿に、温かな風を感じることができることだろう。

学童や子育て支援施設も併設されており、広々とした第2園庭には、野球やソフトテニスに興じる小学生の姿が見られた。この地域の子育てを支える中心的な施設であることが良くわかる。

DATA ひので保育園

熊本県八代市三江湖町1427



テラスデッキから吹きあがる噴水が非常に遊び心を感じた。
夏場は子どもたちが喜んで遊ぶ姿が目に浮かぶようだ。



近代的な国道バイパスが目の前を通っているが、自然も感じさせる。

元岡きらきら保育園の園庭は、福岡市西区にある新設園であり、九州大学の移設に伴い急速に発展を遂げている地域である。まさに自然と都会の交接点となるような場所。子どもたちの遊び心をくすぐる場所。入り口には、ささやかながらも多数の植物が栽培されている菜園スペース、カラフルな遊具や特徴的な構築物の噴水が遊び心をくすぐる。

自然と都会の交接点 ～新しい街で～

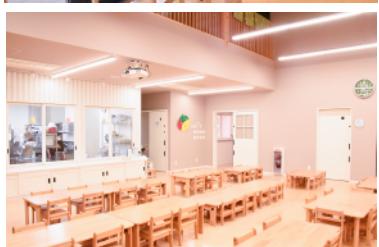
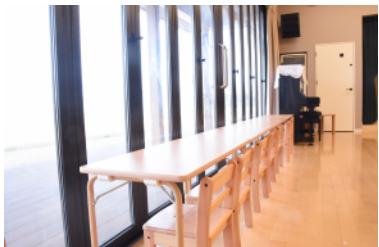




あたたかみのある木の腰壁とバステル系の配色が施された壁紙の組み合わせと、各所に設定された遊びコーナー。環境構成が展開しやすいように移動しやすい家具にもこだわりが見える。

保育室だけではなく、職員用や来客用のスペースにも壁紙等で遊び心をにじませ、来園した人々の目も楽しませてくれる。

インテリアとしてもかなり印象的な廊下の意匠。海外の建築かと錯覚するようなオシャレなデザイン。



ランチルーム兼ホールにある大きな窓ガラスからは遠くの山々を一望でき、かなり開かれた環境である。また、給食時には一番人気の場所でもあるという。



DATA
元岡きらきら保育園
福岡県福岡市西区大字田尻 2063-1

この保育園は子どもたちの成長と幸せな日々を支えるために、魅力的な園舎、楽しい園庭、そして居心地の良い保育室を提供し、福岡市の保育を牽引していく施設となっていく予感を感じさせた。

外観は清潔感あふれる白を基調とし、希望に満ち溢れる園生活を期待させる。園舎内部は、まるで海外の保育園なのかと思うような意匠が施され、カラフルで明るい色調の壁紙で飾られ、温かみのあるスペースが、子どもたちに笑顔を提供し、楽しみながらも遊びこみに集中できるコーナーが設置されている。

職員から子ども、
子どもから保護者へ

滋賀県支部
あさひこども園 園長
幼児教育保育委員会委員長
高尾 宗宏
たかお しゅうこう



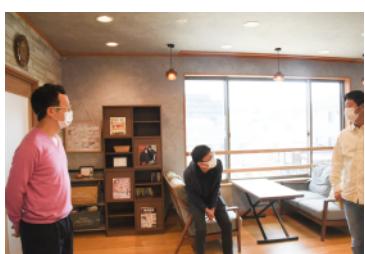
—どのような保育を目指していくですか？

どんな保育にしても、まずは職員ありき、な所から始まっていると思っています。ルール設定はもちろんあるし、何でもあります。ルール設定はどちらんあるし、何でもあります。職員さんの保育で気になる部分があつても基本はとやかく言わないようにしています。

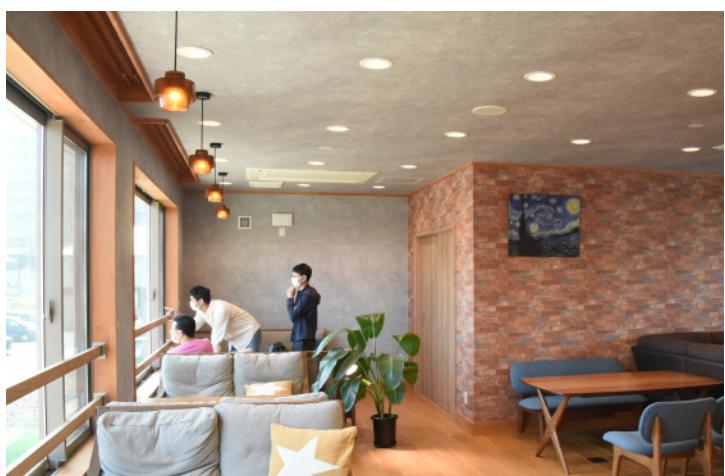
どこの園さんでもそうだと思いますが、できるだけ給料を上げて、できるだけお休みをとつて、ただいて、できるだけたくさん気持ちよく働いてもらいたいという気持ちが根底にあるので。その部分を、限りある予算の中でどこまでできるか、を実践しています。そうすると、自ずと、子ども達も楽しんで園で過ごしててくれるし、楽しんでいる子ども達の姿を見ると保護者の方も喜んでくれる、割と上手いこと行く。

以前は、保護者目線の保育つて結構多くて（大規模な行事等を目標とした設定保育）子どもたちが頑張っているところを見せるつていうのかな、その頑張りこそが学びであるとフォーカスが当たることが多いけれど、保育つていう

のはけしてそこだけではない、と言う所から、今度は子ども目線にフォーカスがあたる保育が多くなってきているようになります。子どもの社会性つていうかチルドレンファーストつていうのでしょうが、しかし、行き過ぎると現場を担当している保育士に負担がかかりすぎてしまうから、どう働きやすくできるか。そこからどう、子どもたちの保育に還元していくてもらえるのかみたいな保



インタビューを受けていたいたいた、園内にある職員用休憩スペース。まるで、おしゃれなカフェラウンジのよう。ここで休憩時間中、あさひこども園の職員は思い思いの時間を過ごすことができる



いたいですし、普段の言動や、休憩室、待遇などで形にしています。でも、現状では満足していないくて、もつともつと違う形でも表現していただきたいと思っています。そういう部分が子どもたちにも還元していつてもらえればいいな、と。

—保育士とパシフィニケーションはどうやつてしている？

休憩室に設置されたお菓子コーナー。さすがに食べ放題とはいかないと。



距離感というか、そういうものは慎重に取り扱っているつもりです。食事会や懇親会で、コミュニケーションを取るという園さんはすごく多いと思います。ただ、そういう集まりが好きではない得意ではないという方もいる。そういう部分から、会 자체に参加することに義務感を覚えてしまうと、きっと嫌になってしまうのでは、と。すべての懇親の機会を無くすわけではないですが、なるべく保育中、もしくは仕事の時間内で懇親ができる機会を増やしているところです。

また、職員採用に関しては、園ごとにその園独特の色味があると思うんですね、そういう色味に合う人を採用しています。同じような色味を持つている人が集まるとき、自然に似たような人たちが集まつてくる、そういう空気感を大事にしています。自然と人間関係のトラブルも減っていくので働きやすい環境づくりに一歩近づいているのではないか、と思っています。



あさひこども園の園舎。
下記写真が、職員休憩用として建設された別棟。



—幼児教育保育委員長として

現在、幼児教育保育委員会では園見学チャンネルというYouTubeの動画チャンネルを運営しています。

このチャンネルはどうして始めたのかというと、園を運営している中で、自分が感じていた事が発端となっています。

保育士さんたちには研修に参加してほしいですし、遊びを持ち帰っていただきたいけれど、基本はやっぱり現場の保育。日中、保育をしている時間に研修で人員を割くという行為自体が、職員の参加を限定してしまっていて、それを補うのに、土日、休日を使用して補完しようとする。

そういうサイクル、僕はあまり好きではなくて、負担に感じてしまう人もいるのではないか、と。それであるならば、もっと時間を限定せずに、受けられる人間も限定せず、空いた時間にカジュアルに学べる場があつてもいいのではないか。少しでも職員のプラスになるのなら、という考えから始めたのが園見学チャンネルです。それが委員会から波及して、少しでも多くの人に見ていただき、一つでも一つでも新しい気付きを持ち帰ってもらいたいと思っています。



園見学チャンネル
QRコード

<https://www.youtube.com/@user-fi5vc9ul6n>

园见学チャンネル
@user-fi5vc9ul6n チャンネル登録者数: 93人, 22本の動画
動画で全国各地の保育園やこども園を見学できるチャンネルです。保育園...>

チャンネル登録

ホーム 動画 再生リスト コミュニティ チャンネル 検索

新しい動画 人気の動画 古い動画

最新動画 1.29 親子で石川県立保育園【子どもは笑っていません】 1.12 こらはり保育園【子どもは笑っていません】 1.12 おんくる中条学園【大阪】園庭【音声・音楽付き】 1.08 やまざき幼稚園【子どもは笑っていません】 1.08 10分以内 10分以内 1年以内 1年以内

「この園さんのおもちゃがいいな」とか、「こういう環境づくりがあったのか」とか、そういう保育にプラスになることが積み重なれば、大きな変化につながるはずなので、そこを目指して続けています。動画の数も派生リンクも合わせるとすでに50本以上になっていて、園に就職したい保育士にも、園に子どもを入園させたい保護者にとっても参考にできる部分は大きいと思っています。園内に足を運ばないと見ることのできない部分が、動画の中で見ることができます。それでいろんな判断の材料になると、プラスに働く部分も多いです。現に、園見学チャンネルを見て、就職や入園につながった事例もあります。

ただ、園見学チャンネルの運営が委員会活動のメインになってしまふと、それはそれで面白みに欠けるので、子どもとのかかわりをテーマにした動画も作成していきたいな、と考えています。

特に熊本大会の分科会ではシチュエーション別に、子どものアクションに対しどうすべきか、人によって対応が結構変わってくると思うんです。

その違いを、どういう関わりをして、どういう解決をしたのか、色々な人の考え方を聞きながら動画を楽しめたら、そんな分科会にしたいと思っています。